

令和7年度 第4回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月27日（金）14時30分から15時45分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 森下 薫、山下 太一郎、酒井 祐也、清水 恭子、山下 晃二
- 4 欠席委員 福島 亜弥、正久 幸廣、森下 裕子
- 5 オブザーバー 勝又 真希（気田幼稚園園長）、船見 安宏（春野支所）
- 6 学 校 小澤 真喜子（校長）、野嶋 孝弘（教頭）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 田代 萌（CS ディレクター）

- 9 議長の選出 司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、森下薫会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1） 学校関係者評価について
- （2） 次年度の学校経営方針・教育活動について
- （3） 学校運営協議会の1年間の取り組みについて（自己評価）
- （4） 次年度の学校運営協議会の活動・組織等について

11 会議記録

司会の野嶋孝弘から、委員の参加者数が既定の数（8人中5人）に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

（1） 学校関係者評価について

教頭から「学校関係者評価について」の資料に基づいて説明があった。

説明を受けて、委員に意見を求めた。

●読書は、簡単な本で冊数を増やすよりも、各学年に合った内容の難易度の本を薦めるのはいいと思う。

（森下会長）

●日常会話よりもメディアから影響を受けた表現を優先して使う傾向が見られる。その結果、悪気はなくても良くない言葉を使ってしまう場合がある。メディアを見る機会が少ない児童もいる中、個人差はあると思うが言葉の受け取り方の違いから気持ちのすれ違いが生じる可能性はないか。（酒井委員）

→SNS やゲームが普及して心配になる場面が多い。しっかり見守っていくことが大切だと思う。（森下会長）

→言われた子も、ポジティブな子なら受け流せるとは思うが、繊細な子はいつまでも気にしてしまうかもしれない。そういった面で強くなれるように自己肯定感が高い子が増えるといい。（清水委員）

→殴る蹴る、言葉遣いも良くないゲームが多いと感じる。そうした影響で自然に強い言葉が出てしまうのは良くない。大学生にもなれば言葉の良し悪しは判断できるが、小・中・高校生あたりはそのまま出てしまう傾向がある。年齢とともに改善していく面もあるだろう。また、自分は厳しい学校生活を送ってきたが、今となってはそれがよかったと思っている。一定の厳しさを持って指導するのも一つの方法かもしれ

ない。(山下太一郎委員)

→自分の周りは、言葉遣いが悪い子が多いと感じる。「この大人にこう言ったら叱られる」など今の子供はTPOをわきまえている子が多い印象。もしかしたら、「目下の子には使ってしまうのかな」と思う。自分もそうだったが、強い言葉を言うってしまう子は、社会に出て気づくのではないかと思う。(山下晃二委員)

→挨拶、言葉遣いなど社会に出るなどして時間が解決するのだと思う。(森下会長)

●自分の子供が3人通って、本校が小規模校というのもあって、多少の仲間外れなどがある時期もあったが、大きいいじめはなかったと思う。高校生になって、人数の多い学校に行ったときに心配な面はある。家である程度カバーできるようにできたらいいと思う。(酒井委員)

→小さいときは先生に言えば解決したが、中学生は、先生に相談すると大事になるのではないかという思いから、親や親しい友人に話して発散することが多い。悩み事など、その事を自分でどう対処するかいろいろ経験して強くなったらいいと思う。(清水委員)

→コンプライアンスを常に気にする職業だった人と会話をしていると、その人は常に気にすることが身につけているため、「それ以上はコンプライアンス違反になりかねます」と会話が止まってしまうことがある。自分たちにとって普通の会話だが、受け取る側はそうでないときもある。止めすぎるのも良くないが、先生方にもアンテナを張って児童を見守ってもらいたい。(山下太一郎委員)

→いじめゼロではなく、いじめの見逃しゼロを心がけていきたいと思う。(教頭)

●「学校は楽しくない」という児童が多かったとあるが、具体的にどういうことか。

→児童のとらえ方として、「イベント、行事が楽しい」と児童は認識しているが、学校としては、「勉強して理解するという学ぶ楽しさ」が本来の楽しさであると定義している。捉え違いをやめようと投げ掛けている。(教頭)

→メディアの影響で受け身な楽しみになっているので、深く考えることが減ったのではないか。(森下会長)

→今年度から、下校の時に校長室の前で「今日一日こういうことを頑張った」と毎日児童に報告してもらう時間を設けている。その結果、学ぶ楽しさを理解してきている児童が多くなったことを実感している。(教頭)

(2) 次年度の学校経営方針・教育活動について

校長より「次年度の学校経営方針・教育活動について」の資料について説明があり、委員に意見を求めた。特に意見等はなく、これを全員承認した。

(3) 学校運営協議会の1年間の取り組みについて(自己評価)

今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標について2つのグループに分かれ話し合いをした。

【A グループ：森下会長、清水委員】

・春野の良さを伝えることは大切なことであるが、春野の現状や課題(コミュニケーション能力の低下)もしっかり伝えたい。

【B グループ：山下太一郎委員、山下晃二委員、酒井委員】

・春野の良さを伝えることはしっかり継続し、体験活動は1つでも増やせるなら増やしたほうがいいと思う。しかし、中山間地域の良さもある反面、人口減少などの社会的課題も子供たちにしっかり伝えるべきではないか。

→以上の意見を踏まえ、課題も盛り込んで一つにまとめるようにする。(教頭)

(4) 次年度の学校運営協議会の活動・組織等について

教頭より「令和8年度コミュニティ・スクール関連行事予定」の資料について説明があり、委員に意見を求めた。

特に意見はなく、全員これを承認した。

(5) 連絡事項

教頭から、今後の学校運営協議会の開催日時について連絡があった。

第1回 4月22日(水) 14時30分～15時30分

第2回 10月2日(金) 14時30分～15時30分

第3回 12月2日(水) 14時30分～15時30分

第4回 2月19日(金) 14時30分～15時30分